

# 優秀賞

木造建築部門

## 美濃保育園

## 子育て支援棟

施主：社会福祉法人 愛育会  
設計者：象設計集団  
施工者：澤崎建設株式会社



### 【施設の概要】

曹洞宗寺院の境内にある美濃保育園の子育て支援棟の改修は「コンクリート造の園舎は数十年で建て替えてはならないが、木造のお寺の本堂は何百年経っても使用している。新園舎は木造で建築する。」という考えからスタートしました。

木育とは、日本の資源である「木」を、子どもたちに伝えること（教育）として、国の林業政策の中で位置づけられています。私たちは、それにとどまらず、「木」の環境によって子どもたちを健やかに育む（保育）ことと考えました。

美濃地方は、森林と林業の土地であり、和紙や、柿渋などの自然環境がもたらす素材、技術、文化が今も残っています。また、人びとが山や自然と共に生活する知恵や伝統も残されています。これらを計画に取り入れ活かすことによって、地域らしさのある特徴的な空間をデザインしました。



### 【建築物（木質化）の基本情報】

用途：保育所／住所：美濃市

竣工：平成24年12月

延床面積：473㎡／階数：地上1階、地下1階

県産材使用量：103.97㎡

### 【県産材利用や地域活性化等に対する取り組み】

立地と同じ長良川流域の木材を多く使用しました。製材、乾燥も、地域内で可能なものを採用したことで、ウッドマイレージの削減につながりました。

床材は、30mmスギ板を釘止めせずにとり落とし込み収まりとしているため、再利用が容易です。

木造在来工法は、特徴的な建築も可能な高度な技術であり、美濃保育園のようなデザイン性の高い建築を地元の材料と職人によって作り上げることが、木の産業の活性化に寄与していると考えています。



### 【アピールポイント】

美濃保育園、岐阜県立森林文化アカデミー、設計者、施工会社、多くの材料の生産者、職人のタッグで、子どもたちのための豊かな環境作りや、「木育」を具現化した園舎づくりを目指しました。

木造園舎を力強く支える自然丸太の柱は、地域の林業家の協力を得て、山に入り樹齢200年弱のヒノキを伐倒し、自然乾燥しておいたものです。伐倒には子どもたちも立ち会いました。

子どもたちがこの園舎で、心と体で「木」を学び、感じ、地域の財産である森の文化を継承していくことを期待しています。



令和6年度岐阜県木の国・山の国県産材利用促進表彰